

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2016年3月1日 第83号
TEL592-5000 fax 571-4346
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

わかり易くユーモアのある話は、戦争法廃止への展望に確信を持った 森英樹講演会に82名参加

9条の会・北九州憲法ネット
事務局 野瀬 秀洋

(森英樹憲法講演会)

森英樹氏は、冒頭、2月14日のことから話始める。「明日14日は、何の日？」会場から「バレンタインデー」の声。バレンタインデーは、チョコレート会社の販売戦略で、国民が買わされる日となっているが、本来は、もっと暗い話から出ている。1200年代、ローマ帝国時代、時の皇帝は、戦争に明け暮れ、兵士の士気を落とさぬため、若者の結婚を禁止した。しかし、恋する若者は絶えることは無い。教会のバレンタイン牧師は、秘密裏に結婚をさせていた。これが発覚し、牧師が処刑された。後の人たちが、牧師の追悼記念の日としたのがこの日。戦争・憲法9条につながる日なのだ。また1944年のこの日は、昭和天皇が「戦争続行」を決めた日でもある。これにより、空襲、沖縄戦、そして原爆へと、多くの犠牲者がでた。

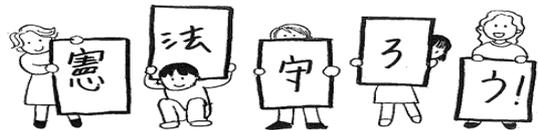
森英樹氏は、本題に入り、戦争法の成立までの出来事を、エピソードを交えながら話す。重要ないくつかのポイントがある。2012年第3次の「アミテージレポート」(戦略国際問題研究所)が出た。ここには、日本への要

闘いはここから

今、国民の戦争法廃止に向けての反撃が再開されている。

2015年9月17日の参議院特別委員会での強行採決は、あまりにもひどすぎる。議場騒然、聴取不能という議事録を、委員長の独断で「追記」した。2016年に野党は、このような前例があるかと、事務局に調査を申し

求が並んでいる。集団的自衛権、米軍の肩代わり推進、南シナ海共同行動、原発再稼働、TPP・・・等、ここ1~2年に安倍政権が行った事項だ。2013年に、国家安全保障会議設置、2014年に武器輸出(禁止)3原則を「防衛装備移転3原則にした。7月には集団的自衛権容認の閣議決定、そして、2015年に、多くの国民の反対の声を無視し、戦争法の強行採決を行った。



立てている。今後の展開が注目される。2015年9月から、「総がかり行動」の呼びかけで、戦争法廃止を求める「2000万署名」の全国行動が行われている。12月には「市民連合」が呼びかけ、政権を追い落とす選挙の野党協力が呼びかけられ、熊本等で実現してきている。2016年1月には「民間立憲臨調」が発

足。2月19日には、野党5党が「戦争法廃

止法案」を共同提出する。

「ブンブク運動」へ

森英樹氏は、「軍事費削って、福祉にまわせ！」という運動が取り組まれたが、これを、もう一度再構築することを呼びかける。「安倍政権の下、社会保障は連続し削減されている。一方、大企業への減税や、手厚いサービス、

5兆円を上回る軍事費の増大。今こそ、庶民や働くものの抗議の大運動が、戦争法廃止の運動と結合して進むことが必要」と、熱く語りかけた。

(200万署名推進の交流)

2000万署名の推進のための交流会が引き続き行われた。4人の方の発言を紹介(一部)。

- 1、戦争法廃止！八幡地区実行委員会（K氏）：自分の診療所に戦争法廃止の署名用紙を置いている。署名を勧めるときの言葉使いがたいせつ。工夫がいる。社会補償の切り下げの中での防衛費の異常な伸び等を訴えている。(集約するための努力をすべきだと述べられた)。
- 2、戦争法廃止とばた地区共同委員会（A氏）：戦争法強行採決した後、昨年10月に共同委員会を結成し、2000万署名の推進をしている。毎月19日の行動、最近では、第一金曜も行動している。駅前や商店街で宣伝署名をしている。先日は自衛官になっている弟が南スーダンに行ったという女性が署名に応じた。「南スーダン是非常に危険」と話していた。地域のローラ署名行動も行った。3人1組で訪問し、1時間で63筆集まった。団体訪問を手分けして行っている。
- 3、若松実行委員会（M氏）：若松地区は、署名集約は3400筆。このうち1000筆を深町という地域で集めている。ニュースをつくり、署名用紙を持って回る。

参加者のつながりだけでも一定数はまわれるが、地図を作り、分担してみると650件は回れることが分かった。対話を中心にし、会話の中で、地域の要求も出た。200軒で対話できた。不在のところには、返信用封筒をつけて置いていく。これで、89筆帰ってきた。年配の方の戦争への危機感が強い。(若者は、訪問した時間帯には、家にいないことが弱点だと述べられた。)

- 4、キリスト者9条の会(U氏)：2000万署名を持って、キリスト教の団体を訪問している。一つ一つの教会を3人1組で、訪問し対話する。ゆっくり時間をかけて対話する。5人しか信者がいない教会で、1時間話した。後日30筆の署名が送られてきた。(返信用封筒に82円切手を貼ることが、相手に、返送する気にさせる契機となるのではと感想を述べられた。)



(アンケートに記載された感想のいくつか)

●憲法9条は壊れていないこと。違憲の戦争法にとっても、憲法は障害になっていることに確信を持った。●森先生の話、レジメも大変整理されていて、勉強になった。●全面的、論理的にまとまったお話で、戦争法廃止への展望と確信を持った。●戦争法の成立に至る経緯や改正に向けた動きが、時系列で整理されて、分かり易かった。●安倍さんのアホ的表現、まともな議論できないこのような人に、日本の将来を任

せることは出来ない。憲法9条の意義を改めて考えないといけない時期にたっていると思います。●安倍政権がズタズタ状態にあるという点を、駄洒落を含め、時系列に解説してもらってありがとうございました。●時系列に、とても細かく内閣や国会の動きが並べてあって、驚くと同時に、戦争をする国にしていこうという勢力が、いかに綿密に作戦を進めているかに怖さを感じた。

憲法随想

「笑い」と共に独裁政治がやってくる!?

9条の会・北九州憲法ネット

代表世話人 荒牧啓一

今年の通常国会が始まって安倍内閣の閣僚、自民党員の失態が多発しその内容は多様である。口利き、放送介入、暴言、差別発言、無知、そして不倫までと「失態のデパート」である。以下、整理すると

- ①甘利明前経済再生相；URと建設業者との補償交渉の「口利き」疑惑、⇒睡眠障害と称し入院
 - ②麻生財務相；消費税増税や「軽減税率」導入問題に関して「混乱はある程度起きる」「つぶれる業者もある」「一つや二つあったとか、百あったとか千あったとかいろいろ出てくる、驚くことはない」⇒ヒトラーの手口をまねて憲法も改正発言
 - ③高市総務相；「9条改正に反対する内容を相当時間放送した場合、罰則規定を適用しない」ということは担保できない、と発言⇒表現の自由が民主主義の成立にとって根源的権利であることに無理解
 - ④丸川環境相；年間被ばく線量1ミリシーベルト以下については「何の科学的根拠もない」⇒「発していない」から、発言撤回に追い込まれた。環境の日（6月5日）を知らなかったのは愛嬌か？
 - ⑤遠藤五輪担当相；外国語指導助手（ALT）の派遣会社の創業者から献金を受け、「口利き」疑惑
 - ⑥高木復興相；過去に女性の下着を盗んだとの疑惑⇒潔白の証明は？
 - ⑦島尻沖縄・北方担当大臣；「歯舞」が読めず、後に「読めなかったわけではない」と言い訳⇒批判封じに？北海道視察を行う
 - ⑧宮崎謙介；「育休宣言」から不倫⇒議員辞職
 - ⑨丸山参議院議員；「オバマ大統領の先祖は奴隷・・・」憲法審査会での発言は意味不明、憲法審査会議員辞職⇒橋下徹元大阪市長と同じく「行列ができる法律事務所」から議員へ、弁護士なのに恥ずかしい差別発言
- 以上、挙げただけでも酷いものである。怒りを通り越して、苦笑、失笑、そして笑ってしまう。

安倍首相は、憲法研究者や法律の専門家などの反対意見に耳を貸さず、集団的自衛権行使を「合憲」と閣議決定を行い、戦争法（安保関連法）を実現したが、安倍氏が「2020年の東京オリンピック招致に功績があった」ので開催時の首相として迎えさせてあげたい、等として、総裁の任期を延長しようとする動きがあるやに聞いている。このような、安倍首相の国家運営を私物化するような「驕り」「傲慢さ」と「お友達」閣僚の失態とは無関係ではないであろう。これらを許せば、独裁政治がやってくる。

他方、2月19日に民主党、維新の党、日本共産党、社民党、生活の党の5野党は党首会談を開き、戦争法廃止の法案を提出し、安保法制の廃止と手段的自衛権行使容認の閣議決定撤回、安倍政権の打倒など4点を確認し、選挙協力の協議を行うことになった。

これは、戦争法に反対する多くの国民の声に応えるものである。更に、野党共闘が具体的に実現するように運動を継続する必要がある。

戦争法では、存立危機事態の武力行使、兵站支援の積極化・拡大、安全確保活動、駆けつけ警護、米軍等の防護のための武器使用、邦人救出のための自衛隊派遣等の**軍事行動が「解禁」**された。

戦争法は、今年3月施行になる。自衛隊（陸上）は、南スーダンに国連PKOで350名が派遣されている（9次）。今、南スーダンは、数千人が死亡、240万人が家を追われ、20万人が国連施設に逃げ込んでいる。政府軍が国連



施設を襲撃している。まさに、内線状態である。
にもかかわらず、安倍政権は、戦争法（改訂PKO法）で「駆け付け警護」「安全確保業務」等自衛隊の任務を拡大し、武器使用まで認めようとしています。自衛隊が、戦争に巻き込まれる

危険が迫っている。

学び、考え、声をあげよう。2月21日、全国で高校生（「ティーンズソウル」等など）が戦争法廃止の声をあげた！中高年もともにガンバリましょう。

カンパありがとうございます。そして、お願い！

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。
振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ12月 織田博吉 川上誠一 1月 松永奉義 尾鶴眞 深川和久 川上誠一 小沢和秋 上西創造 野瀬秀洋 松涛秀道 川原巍誠 三原富子 勝野禎二 土井聖子 松井岩美 高智彦 山本猛雄 森田禮三 諸岡昭三郎 竹中久 三波嘉久 西村文男 中村洋一郎 古賀三千人 小泉孝 平岡博 富安兆子 本島富士子 有馬和子 増野ノリ子 塩塚茂嘉 勝木多美 石井方子 山田成人 キタガワキクオ 2月 田島勝彦 佐多道人 中川紘子 渡辺末子 メッセージ ●ご苦勞様です。昨年は「戦争法」が国会で決定されましたが、多くの国民が廃止を求める運動が拡がり、実現させぬ闘争がさらに求められています。とりわけ国政(参議院)選挙で民主勢力を代表する議員を勝利させましょう。共にがんばりましょう。今年もよろしくお願ひします。 1/4 T, M ●参院選挙の年、「国民連合政府」実現のために全力を！ 1/4 M, O ●辺野古基地は絶対作らせない。翁長知事の毅然とした姿勢に感動。 1/4 K, F ●募金を送ります 1/4 S, K ●いつもの会費のつもりのカンパです。今年を立憲主義をとりもどし、戦争法を廃止させる都市にするために、ともに頑張りましょう 1/4 K, O ●2016年もよろしくお願ひします 1/5 T, K ●カンパ 1/5 T, M ●カンパ ・5 T, K ●謹賀新年 本年もよろしくおねがいいたします。 1/6 S, D ●新年おめでとうございませう。楽しみな幕開けです。身体に気を付けてガンパロー！！ 1/8 T, Y ●カンパ 1/12 R, M ●カンパです 1/12 Y, M ●いつも有難うございませう。安倍自公政権打倒！新しい国・豊かな国をつくりませう 1/19 Y, N ●北九州憲法ネットニュース 12月29日第872号大変学ぶことが多くありませう。それに募金される方々の氏名に接し、懐かしさと励ましを受けませう 1/20 M, K

「九条の会」メルマガ詳細版 2016年2月25日 第228号

編集後記～戦争法廃止と国政選挙における野党協力の合意を歓迎します

2月19日、野党5党の党首会談での合意を歓迎し、これが誠実に実行されることを期待します。 党首会談での確認事項。

- (1)安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。
- (2)安倍政権の打倒を目指す。
- (3)国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。
- (4)国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う。

5野党の幹事長・書記局長は、これらの確認事項の目的を達成するために、早急に協議し、その具体化を進める。(T)